

がんばる

商店街を 応援 します



空き店舗をダンスレッスンスタジオなどに活用しています。男の子たちも久自楽舞に真剣! (鯨ヶ丘倶楽部)

商店街に活気と賑わいを呼び戻し、そこから交流が生まれ、まちが元気になっていくことを目指して、がんばっている人びとがいます。そんな活動を応援するのが、「がんばる商店街支援事業」です。

地域のことを地域が考える 「がんばる商店街支援事業」

商店街の振興は、本県にとって大きなテーマとなっています。そこで、地元の創意工夫や商店主の皆さんなどの参画による商店街活性化の取り組みを促進する事業として、今年度から始まったのが「がんばる商店街支援事業」です。

事業のポイントは、地域のことは地域が考える仕組みにあります。その一環として、商店街活性化コンペ事業を実施しました。若い店主の皆さんなどから斬新で効果的な活性化事業プランを公募し、コンペ方式で事業を選定します。選定された事業に補助金を交付し、商店街の活性化を支援するとともに地元の意欲を向上させることが目的です。

平成十九年度は、県内の商店会などの団体・グループから三十七件もの応募があり、最優秀プランが一体、優秀プランが三団体選ばれました。最優秀プランには百三十万円を上限に、優秀プランには九十万円を上限に補助を行い、プランの実行を支援しています。四つの地域で現在展開されている、熱意あふれる事業の内容をご紹介します。

常陸太田市

鯨ヶ丘商店会応援団 「鯨ヶ丘倶楽部」

最優秀プランに輝いたのは、常陸太田市の鯨ヶ丘倶楽部の『多目的スペース「鯨ヶ丘倶楽部」設立運営事業』です。その概要は、大型の空き店舗を活用し、ダンスレッスンスタジオ、カフェなどを設置し、買い物客以外の方にも来ていただき、音楽・ダンスなど文化交流と、賑わいの拠点にするというもの。

鯨ヶ丘商店会では中心市街地の活性化に力を入れ、平成十五年から久自楽舞のお祭りを開催し、子どもたちをはじめ多くの住民に広がりを見せています。子どもたちの練習場所の確保が難しくなったため、中心市街地にダンススタジオを作ろうと考え、大型の空き店舗に着目。場所が決まり修繕を始めようとしたときに、コンペのことを知って応募をしたそうです。

委員長の藤田謙二さんは、「最優秀プランに選ばれてから、いい意味で負荷がかかりました。認められた以上は、形にし



最優秀プランに輝いた鯨ヶ丘倶楽部の藤田委員長

ていかなくではならないですから。新聞やテレビにも取り上げてもらったので、地域の方にも注目されています。久自楽舞以外にも、子どもたちのダンスサークルや、主婦の方の卓球サークルにも利用されるようになりましたし、地域のコミュニティセンターとつながっていくことが理想です」と話していました。

修繕には多くの費用がかかります。床をはがし、壁を直し、天井のペンキ塗りも、倶楽部のメンバーと市職員、一般の方延べ八十人のボランティアで行いました。補助金はこの修繕の材料費に使われました。みんな力を合わせて作業し、地域の人びとがたくさん関わって誕生した多目的コミュニティスペースは、空き店舗の有効利用を通して、人と人との絆をぐくんでいます。

土浦市
NPO法人
スポーツ健康支援センター

「歩いた分だけタダになる！土浦ウォーカーズプロジェクト 健康のため得るため土浦市活性化のために歩け！(歩数マイレージ)」という事業で優秀プランに選ばれたのが、NPO法人スポーツ健康支援センターです。土浦市中城通り商店街で、中高年者を対象に歩数計を貸し出し、歩数に応じて商店街で買い物ができる商品券を発行します。中高年者にとっては健康増進と商品券が得られ



歩いて健康になり商品券もゲット



古徳理事長(中央)

商店街にとっては売上げが伸びるといふ双方にメリットがあります。「参加者は百十人、平均年齢五十歳です。二月中までの企画ですが、好評なので継続を考えています。商店主の皆さんもやる気を出してきましてので、現在の四十七店舗から、さらに使える店を増やしていきたいです」と、理事長の古徳洋一さんは話していました。

取手市

取手宿
「百年暖簾」実行委員会

『取手宿「100年のれん」キッズプロジェクト』は、旧取手宿通りの創業百年以上の老舗「百年暖簾店舗」を舞台とした商店街づくりです。地元小学生三十三人と、取手市にキヤンパスがある東京芸術大学の有志十人が、百年暖簾店舗を訪れました。小学生は新聞、芸大生はスケッチで百年暖簾店舗を表現しました。芸大生のスケッチは画集になり、三月二十九日まで開催されるスタンプラリーの記念品として参加者に贈られます。

芸大出身の実行委員、傍嶋賢さんは「プロジェクトが、子どもたち、芸大生、商店主の刺激になり、みな楽しそうに取り組んでいます。今まで隠れていた魅力を表に出し、江戸商文化の商店街づくりをしていきたいです」と意欲的です。



小学生が作った新聞と街灯ナベントを持つ傍嶋さん

桜川市

桜川市真壁商工会女性部

「お花でおもてなし・フラワーアート及びフラワーアートギャラリーの設置」事業を行っているのが、桜川市真壁商工会女性部会が中心となつて活動している花クラブの皆さんです。商店街で花いっぱい運動を展開するとともに、シンボリックなフラワーアートの設置、空き店舗を利用したフラワーアートギャラリーの運営をしています。

「事業に参加してくれる花クラブの会員を募集し、建築士の方の協力でハンギング用パネルやフラワースタンドを作り、花は真壁高校が育ててくれています。花を起爆剤とした商店街の活性化です」と話す会長の細谷静枝さん。花でおもてなしをし、年間を通してお客さまが訪れる商店街づくりに取り組んでいます。



お花でおもてなし、花いっぱいの街へ(細谷会長)

岡県中小企業課
TEL 029(301)5550 FAX 3569